学校番号	320

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語（自立）	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「新　現代の国語」　（桐原書店）						
副教材等	五訂版 漢字検定５～２級対応　常用漢字ダブルクリア　（尚文出版） 常用漢字ダブルクリア　別冊徹底トレーニングノート　A タイプ　（尚文出版） 大学入学共通テスト対応版　LT 現代文１　（浜島書店） 新国語総合ガイド　六訂版　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表などの言語活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をバランスよく身に付けてください。
・漢字をはじめとする基礎的な語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、意味の分からない語句は辞書で調べておきましょう。
・提出物の期限を守りましょう。定期考査には学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
論理的な文章や実用的な文章に触れ、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりを通じて伝え合う力を高め、自らの思いや考えを広げることや深めることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を用いて他者や社会全体に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉に表す ［教材］ ふしぎと人生	a：常用漢字の読みに慣れ、書くことにも取り組んでいる。 b［ 書 ］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、表現の仕方を工夫することができる。 c：本文の表現をもとに自分の意見をまとめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
	評論の解析 ［教材］ マヨネーズの穴から	a：文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート
	視点を変える ［教材］ 世界の周縁に身を置く人	a：文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 b［ 書 ］：読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫することができる。 c： 文章の構造を的確に捉えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート グループワーク
	他者と向き合う ［教材］ 文化祭の企画	a：実社会において必要な語句や表現を理解している。 b［ 書 ］： 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、伝えたいことを明確にすることができる。 c：情報を適切にわかりやすく伝えようとしている。	小テスト	ペアワーク	発表 ワークシート
二学期	論理を組み立てる ［教材］ 経済の論理／環境の倫理 情動の必要性	a： 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 b［ 話/聞 ］： 話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 c：自分の考えを効果的に伝えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ノート 発表 ワークシート
	つながりを見いだす ［教材］ 遅れてきた「私」 レオーノフの帽子屋	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b［ 話/聞 ］：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。 c：日常的な言葉のやり取りに関心を持ち、考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 グループワーク	ノート
三学期	情報を関連付ける ［教材］ 食の履歴書	a：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b［ 書 ］：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめ、自分の文章の特長や課題を捉え直すことができる。	定期考査 小テスト	定期考査 グループワーク	発表 ワークシート

		c:筆者の意見を踏まえ、自分の考えを書こうとしている。			
	展望を描く ［教材］ 目の見えない人は世界をどう見ているのか	a:文章の組み立てや接続の仕方を理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c:論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間